

一般社団法人東靴協会

# 第六回 定時総会開催

平成30年6月15日(金)午後2時より 西村記念ホール  
に於いて定時総会が左記の通り開催された。



司会の松戸副会長より、足数の確認(本人参加者16名、委任状50名、計66名で定足数を満たし総会は成立)の後、梶泰和副会長が「一般社団法人として6回目の定時総会を開催します。慎重なご審議をよろしく」と挨拶、続いて栗原会長が「この一年も厳しい年と

なり特に婦人靴の不振が目立つしました。大型店でも良くない実績も発表されています。業界全体が厳しいと思います。協会として大きな動きは、合同ビルの共有者が藤枝氏から四国の「キスケ(株)」に代わりました。手続きなどいろいろありました。手続が終了しましたが、すべて終了し皆様に報告することができました。

またホームページのリニューアルも進めております。皆様の会社のホームページを作成するため、まず、数社にお伺いする予定です。

更に、会員同士の懇親を深めるため、理事会終了後に情報交換会を行ってまいります。業界の情報を共有し会社の経営や店舗構成などに反映させて頂きたいと思っておりまます」と挨拶があつた。

事務局の田中早映子氏より  
資料に基づき各会計科目ごと  
に詳細な説明を行つた。  
続いて監査報告を常任監事  
の田中省一氏より「5月30日  
に会長、事務局立ち合いの元、  
青木監事と共に監査を行つた。  
会計は正確かつ適正に処理さ  
れている」と報告を行つた。  
議長は一号議案、二号議案  
の質疑を求め、異議無く満場  
一致で承認された。

明を行つた。  
また、防災用品セットは次  
回配布が、2021年に、備蓄  
用水は本年（毎年）も行うと報  
告し、承認された。

終わりに小堤前会長より  
「皆様のご協力でスムーズに  
総会を終えることができまし  
た。今年度の各事業も皆様の  
ご協力をいただき、進めてい  
きたいと思います。よろしく  
お願いいたします」と閉会の  
挨拶で終了した。

## 第五号議案 その他件

平成30年度收支予算案 承認の件  
事務局の田中早映子氏により資料に基づき各会計科目ごとに詳細な説明を行つた。議長は三号議案、四号議案の質疑を求め、異議無く満場一致で承認された。

# 第三号議案 平成30年度事業計画案

## 承認の件

○ 勤続10年表彰者（敬称略）

6月15日の総会の前に各社から推薦された永年勤続者の表彰が行われた。

永年勤続者表彰



## 大手三社の決算

FW(フットウェア・プレス誌)6月号によると、大手三社の決算内容は左記の通り。

### ○エービーシー・マート

アスレジャーや

スニーカー人気で伸びます

連結業績6.4%増の

2542億円で增收増益

「アスレジャーライフ」で呼ばれる

スポーツファッショングト

レンジであることから、スニーカーを中心としたカジュアル志向のスポーツウェアの需要が拡大した。また政府によるスニーカー通勤の推奨を機に、ビジネスシーンでのカジュアルファッショングトを押しする動きが出てきた。

こうした動きを背景に、都心部への人口回帰やインバウンド消費の増加に対応し、国内外合わせて109店舗の新規出店を実施、総店舗数1203店舗(連結)となつた。

以上の結果、連結業績は、国内既存店が好調であつたことから、売上高は前期比6.4%増の2542億8300万円、経常利益は同3.6%増の43億8600万円、経常利益は同3.6%増の43億8600万円、経常利益は同3.6%増の43億8600万円、

益は同3.8%増の445億100万円となつた。当期純利益は、法人税率の引き下げなどにより、同4.8%増の297億1400万円となつた。

(表)

### SC中心に63店舗出店

好立地の商業施設やショッピングセンターを中心に63店舗を出店。アスレジャー需要を取り込むための新業態として「ABC-MART SPOTS」を7店舗出店した。

今後も収益貢献するMDを追及しながら出店を進めていく計画。

### ○ジーフット

MDコントロール力不足  
などで減収減益

売上高、営業利益、経常利益、純利益は表の通り減収減益となつた。その要因として次のポイントをあげている。

メガトレンドであるカジュアル化への対応不足(紳士靴・婦人靴からスポーツウェアへの流入が進んだこと)。MDコントロール力の不足による過剰在庫の常態化(MDプロセスの改革が遅れ、従来型のMDを踏襲した結果、人靴やカジュアル化の流れが顕著になつている紳士靴の売

り上げが減少)。

機能性商品の開発遅れ(下

期から投入したウエルネスラ

イトインソール搭載の機能価

値商品は好調)。

退店は27店舗。

出店はイオンモール松本など37店舗の出店があり、全890店舗となつた。

今年度の取り組み

具体的な商品施策としては

①シニアマーケットへの新たなアプローチを行う。

②オン・オフ兼用のシューズを開発提案し、来期90万足をめざす。

③コールマンのリブランディング計画を進め、来期60万足をめざす。

④PB商品の年間販売目標を1400万足とする。構成比をエクスクルーシブと合わせ40%をめざす。

づくりから販売促進までが連動した取り組みを全店展開し、販売は堅調に推移した。特に、婦人靴、ブランドフワラクは、一般女性の声をもとに商品開発を行い、陳列や接客など販売方法の標準化やきめ細かい

売方法の標準化やきめ細かい

サービス管理により、当期販

売は30万足に迫るヒット商品

となつた。また、防水・防滑機能商品も好調に推移した。

出店については、首都圏の駅周辺に22店舗を出店、35店舗を閉店し、期末店舗数は1080店舗となつた。

販促策では、チラシからWEBC媒体へのシフトを進め、会員数609万人のメルマガ・アプリと会員数583万人のシニアプラザLINE公式アカウント会員に向けて、PB商品やキャンペーンなどの情報を積極展開した。

づくりから販売促進までが連動した取り組みを全店展開し、販売は堅調に推移した。特に、婦人靴、ブランドフワラクは、一般女性の声をもとに商品開発を行い、陳列や接客など販

売方法の標準化やきめ細かい

サービス管理により、当期販

売は30万足に迫るヒット商品

となつた。また、防水・防滑機能商品も好調に推移した。

出店については、首都圏の駅周辺に22店舗を出店、35店舗を閉店し、期末店舗数は1080店舗となつた。

販促策では、チラシからWEBC媒体へのシフトを進め、会員数609万人のメルマガ・アプリと会員数583万人のシニアプラザLINE公式アカウント会員に向けて、PB商品やキャンペーンなどの情報を積極展開した。

づくりから販売促進までが連動した取り組みを全店展開し、販売は堅調に推移した。特に、婦人靴、ブランドフワラクは、一般女性の声をもとに商品開発を行い、陳列や接客など販

売方法の標準化やきめ細かい

サービス管理により、当期販

売は30万足に迫るヒット商品

となつた。また、防水・防滑機能商品も好調に推移した。

出店については、首都圏の駅周辺に22店舗を出店、35店舗を閉店し、期末店舗数は1080店舗となつた。

販促策では、チラシからWEBC媒体へのシフトを進め、会員数609万人のメルマガ・アプリと会員数583万人のシニアプラザLINE公式アカウント会員に向けて、PB商品やキャンペーンなどの情報を積極展開した。

づくりから販売促進までが連動した取り組みを全店展開し、販売は堅調に推移した。特に、婦人靴、ブランドフワラクは、一般女性の声をもとに商品開発を行い、陳列や接客など販

売方法の標準化やきめ細かい

サービス管理により、当期販

売は30万足に迫るヒット商品

となつた。また、防水・防滑機能商品も好調に推移した。

出店については、首都圏の駅周辺に22店舗を出店、35店舗を閉店し、期末店舗数は1080店舗となつた。

販促策では、チラシからWEBC媒体へのシフトを進め、会員数609万人のメルマガ・アプリと会員数583万人のシニアプラザLINE公式アカウント会員に向けて、PB商品やキャンペーンなどの情報を積極展開した。

## 大手三社の決算(連結業績)

社名	決算期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
		百万円	079	百万円	079	百万円	079	百万円	079
エービーシー マート	2018年2月期	254,283	6.4%	43,386	3.6%	44,501	3.8%	29,714	4.8%
	2017年2月期	238,952	0.3%	41,860	0.8%	42,860	1.6%	28,365	8.6%
ジーフット	2018年2月期	97,282	-4.8%	2,238	-55.3%	2,279	-54.6%	751	-72.0%
	2017年2月期	102,224	-1.6%	5,005	-9.3%	5,027	-8.1%	2,680	-4.8%
チヨダ	2018年2月期	127,634	-6.8%	6,132	-20.7%	6,595	-19.0%	4,643	8.1%
	2017年2月期	137,017	-5.2%	7,731	-17.5%	8,143	-18.0%	4,295	-12.0%

業界情報

**走れる革靴**  
紳士服最大手、青山商事が  
2017年10月から販売する  
「走れる革靴」が売れている。  
最大の特徴はブリヂストンの  
タイヤ技術を使ったアウト  
ソールを採用している点だ。  
履き心地やデザインの良さに  
加えて、地面をしつかりつか  
むグリップ力が、ビジネスマー  
クから支持を集めている。年  
間1万足を売れば成功とされ  
るビジネス用革靴において、  
半年間で6万足を売り上げる  
異例のヒット商品となつた。

ゴムの技術に強みを持つブリヂストンにソール開発を依頼した。ソール開発はブリヂストンの技術者が担当し、自動車用のタイヤで培ってきた技術とゴム配合技術を生かしてソールの開発を行つた。これにより歩行時のグリップ力が高まり、雨の日のぬれた道路を歩く際も滑りにくいうソールが出来上がつた。販売価格は税別1万6000円と、青山商事で扱う革靴の平均より3割ほど高いが、同社で過去最も卖れた革靴になる。

のと畜頭数は牛が105万頭、豚が1639万頭なので、牛皮は100万枚程度、豚皮は1600万頭程度が生産されていることになる。

原皮の輸入は合計で2万4100トン(68万枚)、金額では112億円。数量(枚数)の73%が牛馬皮で、主にアメリカ、カナダ、中国から輸入されている。

日本皮革産業連合会(JLA)によると、成牛皮輸入のピークは1970年代で、76年には年間1125万枚が輸入され、以降90年までは年間約800万枚が輸入された。それだけ、国内の製靴産業が大きかつたということになります。

**革の国内生産量**

一方、鞣された「革」の国内生産量は、クロム革合計(牛革、馬・豚・山羊・めん羊革)で149万7000枚。このうち83%を占める124万3000枚が牛革にあたる。ただし、この数字は従業員が10人以上で経済産業大臣指定の事業所のもので、実際の数字とはかけ離れていると思われる。

システムの天網（スカイネット）が、アイフォンより数段上だ。マスクやサングラスをかけていても個人特定できるとし、中国の監視カメラは全土に7億台設置され、2年内に4.5億台にまで増やす予定だ。人口14億人だから国民8人に1台から3人に1台になり街中監視カメラだらけになる。どこにいても接触相手も含めて、瞬時にデータベースと照合して判断、車もナンバーで追跡する。

T V のびつくり動画番組に中国の事故シーンがよく出るが、あれも監視カメラ映像だ。学校や公衆トイレにも設置されている。

駅や高速道路インターの一部では、担当者が同機能の顔認証メガネも使い始めた。顔と車のナンバーをリアルタイム照合し、2016年のテスト直後でも、人身売買などの容疑者複数を特定したという。

日本では、監視カメラは商店街やコンビニ、工場など、民間主体で500万台強と21人に1台となっている。

韓国では、800万台設置され、64人に1台となつてい。（FW6月号より）

## 皮と革の生産・輸出入 原皮の輸出入

東京都立皮革産業技術センター台東支所が編集・発行している「皮革統計ハンドブック2017年版」から、日本で流通する「皮」と「革」の2016年の数字をみる。始めは原皮と呼ばれる鞣す前の皮の国内生産量からみると、原皮の生産量は全国の「と畜頭数」から推計される。と

のと畜頭数は牛が105万頭、豚が1639万頭なので、牛皮は100万枚程度、豚皮は1600万頭程度が生産されていることになる。

原皮の輸入は合計で2万4100トン(68万枚)、金額では112億円。数量(枚数)の73%が牛馬皮で、主にアメリカ、カナダ、中国から輸入されている。

日本皮革産業連合会(JLA)によると、成牛皮輸入のピークは1970年代で、76年には年間1125万枚が輸入され、以降90年までは年間約800万枚が輸入された。それだけ、国内の製靴産業が大きかつたということになります。

**革の国内生産量**

一方、鞣された「革」の国内生産量は、クロム革合計(牛革、馬・豚・山羊・めん羊革)で149万7000枚。このうち83%を占める124万3000枚が牛革にあたる。ただし、この数字は従業員が10人以上で経済産業大臣指定の事業所のもので、実際の数字とはかけ離れていると思われる。

システムの天網（スカイネット）が、アイフォンより数段上だ。マスクやサングラスをかけていても個人特定できるとし、中国の監視カメラは全土に7億台設置され、2年内に4.5億台にまで増やす予定だ。人口14億人だから国民8人に1台から3人に1台になり街中監視カメラだらけになる。どこにいても接触相手も含めて、瞬時にデータベースと照合して判断、車もナンバーで追跡する。

T V のびつくり動画番組に中国の事故シーンがよく出るが、あれも監視カメラ映像だ。学校や公衆トイレにも設置されている。

駅や高速道路インターの一部では、担当者が同機能の顔認証メガネも使い始めた。顔と車のナンバーをリアルタイム照合し、2016年のテスト直後でも、人身売買などの容疑者複数を特定したという。

日本では、監視カメラは商店街やコンビニ、工場など、民間主体で500万台強と21人に1台となっている。

韓国では、800万台設置され、64人に1台となつてい。（FW6月号より）

中国の監視カメラ

畜とは、主に家畜を食肉などを得るために殺すこと。皮革は主に食肉生産の副産物が再利用され、と畜頭数の95%程度が原皮になるという。16年持つ革靴を作るため、

種類は圧倒的に豚皮が多く、数量（枚数）の98%を占めている。主にタイや台湾に輸出されている。

中国の監視力メラ

だより

**理事会・支部連絡会**

平成三十年六月二十一日(金)  
午後二時 西村記念ホール

出席者21名

栗原会長が「私達の感覚では、まだ景気回復の実感は無く、厳しい環境が続いています。給料を見ると我が国では、近年20年位あまり変化していません。ヨーロッパや米国などの賃金は確実に上昇し、特に中国の賃金の上昇は目覚ましいものがあります。先日アジアリングのセミナーがありましたが、特に新しい内容ではなかつた気がします。やはり人間関係を大切にすることが一番だそうです。また、かつてのようにブランド志向や物欲が減少している今、何を欲求しているのか、本当に欲しいものは何かを聞いて商品製作に生かす。さらに自由になるお金を持つているのは、ミドル・シニア層だ。そこに向けて、じっくりと接客し対応していくことが大切だ。商品面でも近年変化が少なく、商品を引く商品も差していくなど研究してほしい。今後大切なキーワードは健康志向だ。スニーカーも含め紳士・婦人

靴は履きやすさに重点を置いて展開したい」と挨拶し、議事に移った。

一、夏期レクリエーションについて

松戸副会長より本年のレクリエーションについて、別紙配布資料についてコース内容の詳細な説明。多数の参加の要請をした。

二、シユーフィッター既得者勉強会について

佐宗専務理事より、8月17日(金)午前10時より12時まで当西村記念ホールにおいてシユーフィッター既得者勉強会を開催する。講師は小堤幸雄氏が担当し「靴合わせ&アジャストメント」と題し行う。すでに数名の申し込みがあるが、さらに多数の参加を要請した。

三、「靴まつり」について

田中催事広報委員より例年開催している「靴まつり」を本年も9月1日～30日迄開催する。

今回も日本靴小売商連盟主催で開催する。方法は例年通り応募はがきを抽選し500名様に¥5,000のお買物券を進呈するもの。告知ポスター及び応募葉書などは、8月の理事会で配布予定、と説明があった。

東京都中小企業景況調査(5月)  
業況:2か月連続で上向く  
見通し:弱含みで推移

卸売業			業況			
対象数	回答数	回答率	5月		今後3か月間見通し(当月比)	
			悪い	良い	悪い	良い
875	376	43.0%	-100	0	100	-100
衣料・身の回り品						
1.男 子 服						
2.婦人・子供服						
3.靴・履物						
4.かばん・袋物						
5.装身具・身の回り品						

小売業			業況			
対象数	回答数	回答率	5月		今後3か月間見通し(当月比)	
			悪い	良い	悪い	良い
875	280	32.0%	-100	0	100	-100
衣料・身の回り品						
1.呉服・服地・寝具						
2.男 子 服						
3.婦 人 服						
4.子供服						
5.靴・履物						
6.かばん・袋物						
7.雑貨・身の回り品						
8.時計・眼鏡						
9.ジュエリー製品						

6月8日(金)浅草ビューホテルに於いて日本皮革産業連合会通常総会が開催された。冒頭岩崎会長が「景気は緩やかな回復基調と言われているが、実感があまりない。しばらくは踏ん張る時間が続くとみられる。一方、情報化やグローバル化の変化が早く、対応していかないとならない」と挨拶し議事に入った。

午後3時頃より開催!

6月19日(火)に日本靴連盟第62回通常総会が西村記念ホールにおいて開催された。司会は栗原茂氏、西村浩司が「厳しい環境の中、川上から川下までのこの会が連携し頑張ろう。」と挨拶。議事に入つた。各議案は担当者が説明し審議の上すべてが原案通り承認された。

社名	4月	5月	6月
全社売上	-9.3	-11.6	-3.5
チヨダ	-9.4	-13.2	-3.5
客数	0.0	1.8	0.0
店舗数	1080	1072	1069
A B C マート	1.7	-4.7	5.8
全社売上	3.2	-4.9	4.1
客数	-1.4	0.2	1.6
店舗数	965	964	966
G フット	-3.9	-8.1	1.7
全社売上	-4.4	-8.7	1.0
既存店	899	897	898
店舗数			

前半はレイン関連、防水防滑の機能紳士靴、後半は夏物が好調に推移。(ジーフット)大手3社の売上推移 グローバルブランドスニーカーは好調。早い梅雨開けで夏期シーズン商品が好調。紳士靴は伸び悩み。(チヨダ)大阪北部地震の影響は軽微で、前期比プラスとなつた。商品では、気温が低かつたこととサンダルの販売は低調。降雨による防水シューズが好調だった。(ABCマート)前半はレイン関連、防水防滑の機能紳士靴、後半は夏物が好調に推移。(ジーフット)

#### 四、FHAシユーフィッター養成講座について

佐宗専務理事より、FHAに委託して開催しているSF養成講座について

日本靴連盟通常総会開催

大手3社の売上推移